

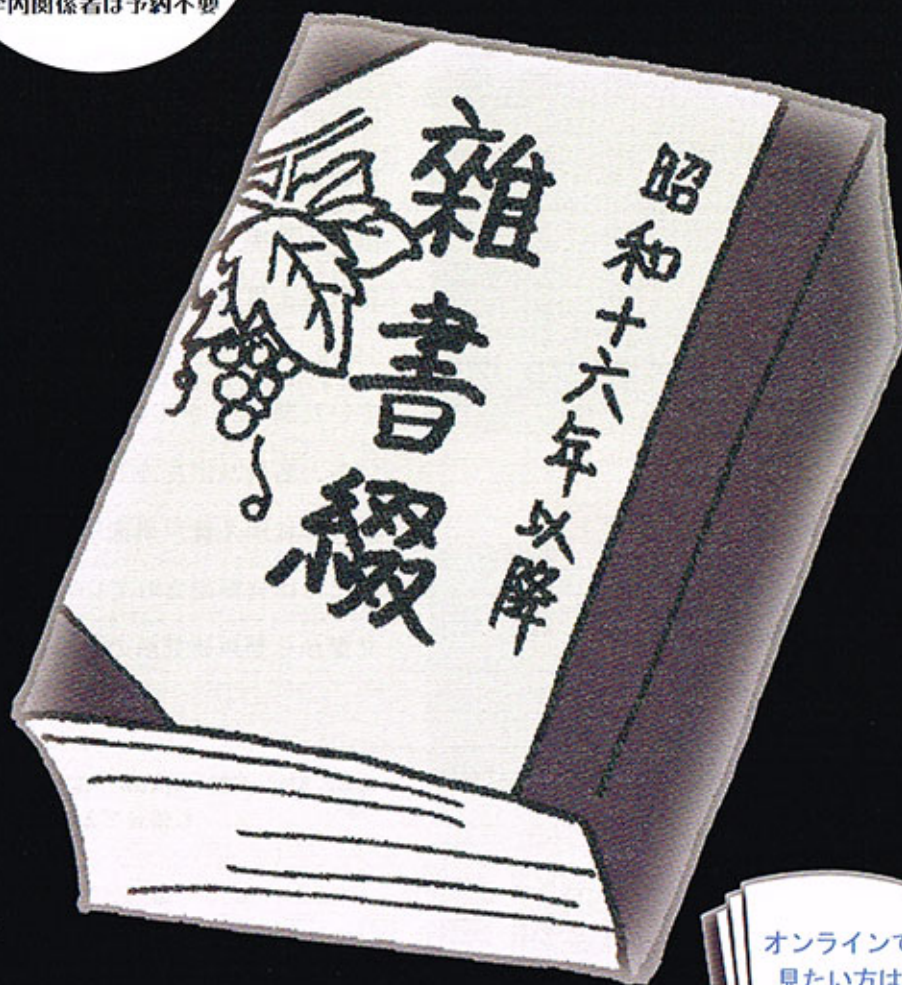
2019年度
企画展
再展示

要事前
予約

学内関係者は予約不要

少女が
残した

登戸研究所の
記録



オンラインで
見たい方は
こちらから



2021.9.29(水) → 10.30(土)

【開館時間】10:00 - 16:00 【休館日】日曜 - 火曜 【入館料】無料

【展示開催場所】明治大学平和教育登戸研究所資料館およびオンライン <https://www.meiji.ac.jp/noborito/event/index.html>

後援：川崎市、川崎市教育委員会

特記事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により、一般の入館を制限または臨時休館する
場合もございます。ご来館前に当館HPをご確認いただくか当館までお問い合わせください。

明治大学平和教育登戸研究所資料館

The Defunct Imperial Japanese Army Noborito Laboratory Museum for Education in Peace, Meiji University
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学生田キャンパス内 TEL/FAX 044-934-7993

✉ noborito@mics.meiji.ac.jp 🏠 <https://www.meiji.ac.jp/noborito/>

web



Facebook



Twitter



Instagram



2020年3月、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休館により、途中閉幕となった本企画展。
この度、再展示することとなりました。
ぜひ、この機会にご覧ください。

一般来館者の事前予約方法

感染拡大防止のため、入館には事前予約が必要です。

- (1) 電話、FAX、Eメールにて前日16時まで下記連絡先に事前予約のうえ来館ください。FAX、Eメールでの予約は資料館からの返信をもって確定します。(予約受付時間 水曜日～土曜日 9時～16時)
- (2) 予約は各日①10時～13時、②13時～16時入館の枠で10名ずつ受け付けます。
- (3) 予約時には次の情報をお知らせください。
ア 予約日、曜日と予約枠(①10時～13時、②13時～16時)
イ 代表者氏名と緊急連絡先
ウ 人数
エ 全員の氏名(フルネーム)※お名前がない方はキャンパスに入構できません。
オ Eメールの場合はメールアドレス(仕様上、必ず明記してください。)
- (4) 予約状況によりご希望の日時に予約できない場合がありますので可能ながぎり第二希望までお知らせください。

LIVE
配信

zoom 展示解説会 (予定)

開催日時：10月30日(土) 13:00～14:30
開催方法：オンラインのみ(zoom ウェビナー)
解説：館長 山田 朗(明治大学文学部教授)
定員：400名(申込先着順)
当館初の試みとして、館内からzoomを利用したLIVE配信で本企画展の展示解説会を行う予定です。
※当館の通信環境によってはやむを得ず中止することもあります。実施可否は10月16日(土)までに確定します。お申込み済の方には可否を個別に連絡いたします。

【お申込み方法】

右のQRコードを読み取るか、下記当館メールアドレス宛に「氏名」と「Eメールアドレス」を添えてお申込みください。



【注意】要開館日以内に当館よりお申込み確認メールを送信いたします。当館からのメールが届かない場合、迷惑メールフォルダ等に振り分けられている可能性がございますので、「noborito@mics.meiji.ac.jp」からのメールを受け取れるように設定して下さい。

企画展解説動画のご案内

企画展の見どころを、日本近現代史の専門家である当館館長山田朗が解説しています。

資料館トップページ [登戸研究所資料館動画集](#)

(スマートフォンの場合は を押してください。)



少女が残した 登戸研究所の記録

今から約80年前の1939(昭和14)年、現在の明治大学生田キャンパスがある場所にあった陸軍科学研究所登戸実験場は、登戸出張所と名称を変えました。これは、単なる呼称変更ではなく、それまでの電波兵器研究部門を第一科とし、新たに毒物・薬物・生物兵器等を開発する第二科と、中国の偽札等を製造する第三科が増設され、ここに総合的な秘密戦研究所としての登戸研究所が成立したのです。この特殊な研究機関に関する物的資料は1945年の敗戦に際して徹底的に焼却・破壊され、登戸研究所の活動を示すものは、全て抹殺されたと思われてきました。ところが、今から30年前の1989(平成元)年に、登戸研究所にタイピストとして勤めていた関コトさんが登戸研究所の数百枚もの文書を持っていると名乗り出たのです。当時、十代の少女だったこの女性が、なにゆえ登戸研究所の文書を持っていたのか、そしてそこには何が記されていたのか、『雑書綴』と名付けられた文書から登戸研究所の秘密に迫ります。

SNS 連載 twitter「@meiji_noborito #コトさん」
も併せてお楽しみください。



アクセス

小田急線生田駅南口徒歩15分/
向ヶ丘遊園駅北口より小田急バス「明治大学正門前」行終点下車

